

中野 寛之議員



録画
配信中



一問一答方式

- ①アフターコロナの経済対策
- ②デジタルトランスフォーメーション(DX)と大洲市の取組
- ③市営住宅使用料の滞納問題
- ④大洲病院のサイバー攻撃対策
- ⑤学校教育

アフターコロナの経済対策について

問 現在のような危機的な状況においては、切れ目のない財政支出が必要と思うが、今後の大洲市経済の課題をお聞きする。

答 現在、下火になっている新型コロナウイルス感染症ですが、海

外では依然感染が拡大しており、新たな変異株の影響も危惧されています。今後も感染再拡大に留意しつつ、アフターコロナを見据えた経営

基盤の強化や新規事業へのチャレンジなどを促進し、人手不足や事業承継に対する支援といった従来からの課題解決にも留意しながら、必要な経済対策を行う必要があります。

自治体のコロナ対策の財源など、引き続き、国、県の動向を注視しつつ、市においても、商工会議所や商工会、市内金融機関等で組織する、きらめく大洲支援プロジェクトチームによる経済対策連絡会を適宜開催し、市内の状況等を踏まえた上で、必要な事業を実施する考えです。

デジタルトランスフォーメーション(DX)と大洲市の取組について

問 広報におけるSNSの活用でインスタグラムの導入は検討されているのか見解をお聞きする。

答 インスタグラムは写真や動画を投稿する特徴から、特に観光客誘致を目的に全国の自治体で運用されており、本市でも今年度中に運用開始できるよう準備しています。

SNSを活用した情報発信では、

鮮度のよい情報を提供することが大切ですが、インスタグラムの登録者が多い先行事例では、統一した世界観を持って、触れてみたいと思わせる写真が数多く投稿されており、投稿のコンセプトも重要だと考えています。運用開始時には、季節を感じる自然や美しい風景、魅力的な建物などの写真を中心に、ある程度ボリュームを持たせながら写真のサイズや色合い、見出し、分類など、統一感を持って一定の投稿頻度を保てるような情報発信を行っていきま

学校教育について

問 校則改正のルールづくりと見直しや改正のプロセスを明確化していくべきだと考えるが現状はどのようになっているのか。

答 中学校では、生徒、保護者、教職員が校則検討委員会を組織して、校則や申合せ事項の見直しをしています。したがって、この委員会によってどの中学校でも改正に向けてのルールやプロセスについて明確にしています。

校則等は、社会状況に併せて見直す必要があります。生徒や保護者から出た意見は十分に尊重し、校則検討委員会で慎重に検討協議します。ただし、高校入試では、服装や髪型などの身だしなみをきちんと整えておくことも求められますので、それを踏まえ、校則検討委員会ではどの学校でも建設的な議論が行われています。

最近の例では、生徒からの要望で、女子生徒の制服のスカートを手ラックストとの選択制にするなどの改定に取り組んでいる学校もあり、それぞれ学校の実態に応じた適切な校則等の見直しが行われています。現在、おおむねどの学校でも落ち着いた日常を送り、今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校づくりを目指した学校経営ができていると考えています。

